



あなたと議会を結ぶ

議会だより

- 発行：鹿児島県知名町議会
- 編集：議会広報委員会
- 発行日：令和5年1月25日
- 〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119



謹賀新春

主な内容

◆ 議長あいさつ	2
◆ 今年の抱負	3
◆ 臨時会・定例会・主な項目	4
◆ 一般質問	5~12
◆ 令和4年 第4回知名町議会定例会議決結果・広報研修	13
◆ 議会の動き・編集後記	14



年頭の挨拶

知名町議会議長

福井 源乃介



町民の皆様新年あけましておめでとうございます。令和5年の輝かしい新春をお元気で健康やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。また、日頃から町政の推進・議会活動一議員活動へのご理解とご協力を賜り、衷心より厚く感謝申し上げます。

さて、知名町議会では議論の質を高め・町民から信頼され・時代の変化を的確に捉え、町民の皆様の付託にきちんと応えるよりよい議会を目指して、議会の最高規範である議会基本条例を基に議会改革を進めています。昨年、議会改革推進会議を立ち上げ、日本生産性本部や早稲田大学マニフェスト研究所の招聘研究員の支援をもらい、研修会や町内の各種団体との語る会・意見交換会ワールドカフェを通して課題を抽出し、各常任委員会が積極的に活動して令和6年には議会としての政策提案を行うこととしています。

また、議会改革を進める中で、昭和25年初代議長根釜内憲氏以来、議会は今日まで男性のみの世界でした。これに新風を吹き込み議会改革を進める上で女性議員の参入も必要と考えています。男女共同参画・女性活躍社会の実現が叫ばれて久しい今、時代は確実に女性議員を求めています。2年前には瀬戸内町初の女性議員2名が誕生し、去年は、徳之島の伊仙町・天城町で初の女性議員が相次いで誕生しています。奄美郡内12市町村の中で未だに女性議員が誕生していないのは、3町1村となりました。本町もその中の一つです。これまで政治に関わりのなかった女性が目覚めることで選挙に勝てる時代がそこまで来ています。子育てや教育・文化・医療・介護・福祉・環境に経済などあらゆる分野でたずさわっている女性の感性・目線による町づくりも必要だと考えています。議会としても、昨年2月に知名町地域女性団体連絡協議会との語る会・意見交換会を開催、10月14日には企画振興課の協力の下、初の模擬議会・女性議会を開催することができました。町内外から大きな反響もいただきました。これまで届かなかった多くの女性の声を届けることができます。今後の展開に期待をしているところです。

町の方では、役場庁舎建設や水道水の硬度低減化・脱炭素ゼロカーボン推進事業など大型事業が続きますが町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を続けながら、令和5年も町民の皆様にとりまして、健康で幸多き明るい素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

令和5年元旦

今年の抱負

新山議員

行政と議会は車で言えば両輪であり、目標は同じ町民福祉であります。魅力ある知名町を目指して頑張ります。

根釜議員

癸卯（みずのと・う）は、コロナ禍により希薄に感じられるようになった絆の再構築と地域活性化をテーマに語り合い歩んで行けたらと思います。

外山副議長

常に時代の变革を捉え、町民の付託に応える議員、議会となるよう議会改革に邁進します。

福井議長

議長として後半も議会運営に全力で取り組み、議会改革を推進して町民福祉の向上、行政サービスの充実に努めます。

奥山議員

皆様の要望を聞き、調べて町と協議し、叶えていけるよう、努力し成長していきます。

福川議員

町民の意見をしっかりと受け止め、町政へ繋ぎ、住みよい町になるよう力を注ぎ頑張ります！

川畑議員

「有言実行」これからも町民の声を行政に届けていけるよう邁進してまいります。

城村議員

町民の意見を聞き、しっかりと調査し、行政に忖度なく発言する。
初心忘れず元気いっぱい頑張ってます。

今井議員

町民の声を真摯に受け止めて、一般質問を積極的に活用し、今後も町民福祉向上と町の発展に邁進して参ります。

宗村議員

知名町民の知名町民による知名町民のための知名町を築いていくために町民一丸となって取り組める努力をしたいと思えます。

窪田議員

農・漁・商工業の安定と所得の向上を地域振興の基盤として、世界の平和と町政の発展のため日々精進致します。

西 議員

心を一つに、町政は町民にありをモットーに、全世代、全業種に適した行政に届けるよう粉砕身頑張ります。

令和4年第3回臨時会・第4回(12月)定例会

知名町議会第3回臨時会は、10月21日に開催され、令和4年度知名町一般会計補正予算(第4号)を原案可決いたしました。主な内容は国の物価高騰対策として非課税世帯への電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業を新規計上、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対策として各種支援事業をそれぞれ新規計上しました。

第4回定例会は、12月13日から16日までの日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に8名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案審議は、職員の定年等に関する条例等9議案を原案可決後、職員の給与に関する条例、町長、議会議員の報酬に関する条例を原案可決しました。令和4年度一般会計補正予算(第5号)を含む7会計の補正予算を原案可決しました。また、単独議案も原案可決又は可決しました。

一般質問

8名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。
5ページからの掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。(質問順に掲載)

奥山 雅貴議員

1. 農家、町民への取り組みについて
2. マイナンバーカードについて
3. 学校教育について
4. 新庁舎について

今井 吉男議員

1. おきえらぶフローラルホテルについて
2. フローラル館について
3. おきえらぶフローラルホテルの経営悪化について
4. 新庁舎建設について
5. 公共工事について
6. 認定こども園の送迎車の管理について

福川 勝久議員

1. 給食費無償化について
2. 脱カーボンについて
3. 保育料無償化について

西 文男議員

1. 奄美群島振興交付金・奄美群島成長戦略推進交付金について
2. 買い物弱者対策について
3. 子育て支援について

窪田 仁議員

1. 農業振興について
2. 奄美群島振興交付金事業について
3. 道路整備について

城村 誠議員

1. 収納対策室設置による成果は
2. 納付窓口拡大による成果は
3. 生活困窮者への徴収対応は
4. 南北連携事業の進捗状況は
5. ケイピングへの住民理解は
6. 洞内環境悪化はないか

外山 利章議員

1. ゼロカーボンアイランド実現に向けた取り組みについて

根釜 昭一郎議員

1. 空き家対策について
2. 船舶欠航問題について
3. 島留学について

動画配信は
こちら



奥山雅貴議員



物価高騰対策は

町長／物価高騰で町民生活が大変苦しい状況にありますので商品券事業を継続します

問 本町に新たに交付された助成金、補助金の交付総額は。

答 町長 令和4年度においては10億3868万円、前年度比で1億7913万円の増となっており。本年度からの新たな補助金として地域脱炭素移行・再エネ推進交付金1600万円、デジタル田園都市構想事業費補助金9687万円がございします。

問 子牛価格の下落に対して国は黒毛和種で60万以下1頭1万円、57万以下1頭3万円出しますが、町独自の対策は。

答 町長 令和4年3月から令和5年1月までの子牛セリ市での取扱頭数1頭につき2万円を町内畜産農家の皆様に補



和牛オリンピック

助金を給付する事業をおこなっており。

問 マイナナンバーカードを取得したら2万円のマイナポイントが付与されるが使い方がついて多くの町民が理解していない。使い方について説明すべきではないか。

答 町長 町長はマイナポイントを受け取るためには、マイナポイント事業への申し込みと健康保険証としての利用申し込み、公金受取口座の登録を行う必要がある。基本的には自身のスマートフォンやパソコンを使って自ら行うことになっていきます。マイナナンバーカードのパスワードの入り、キャッシュレス決済やスマートフォンの機能に慣れて頂く趣旨も含まれていると思われ。完結できない場合は町民課窓口で支援していきたいと考えています。

問 物価高騰で町民生活が大変苦しい状況にあります。がんばる知名町応援券は助かりますが、他の対応策を伺います。

答 町長 引き続き同交付金を活用し、コロナ及び物価高騰対策として、町民生活と町内事業者への効果が高い商品

券事業を継続して実施するほか、肥料高騰対策や畜産飼料価格高騰対策事業など様々な事業に取り組んでいます。

問 9月の定例会で下平川小学校PTAが負担し設置している拡張机ですが教育長はすぐやりますと前向きな答弁でした。全ての学校への設置完了日はいつか。

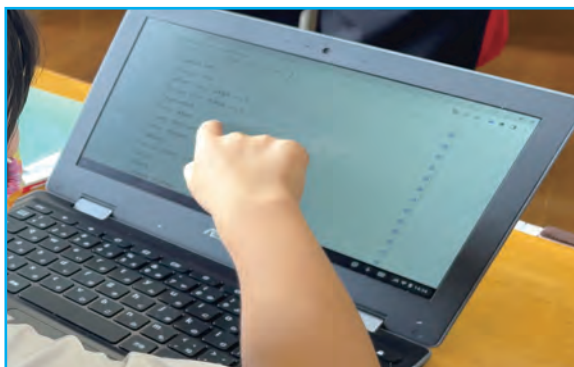
答 教育長 規格を満たし、スペース的に設置が可能な小学校2校、中学校2校から要望があり、現在これら4校については、来年度当初予算へ予算要求中で、早ければ令和5年度の1学期には設置できるものと考えております。



拡張机

問 学校訪問でタブレットを使用した授業を見学しました。児童生徒、先生の意見は。

答 教育長 児童生徒からはタイピングの練習、ローマ字が打てる、すばやく調べられる、楽しいなどの感想があり、教職員からはプレゼンができ、熱心に取り組んでくれ、理解したりすることができると感想がありました。



タブレット

問 新庁舎駐車場点字ブロックは安全確保しているのか。

答 町長 条例に基づいて設計されており。

問 新庁舎盲導鈴は何処に何力所設置予定か。

答 町長 正面玄関1カ所に設置予定とされています。屋外から正面玄関へ誘導した後、総合案内所で職員が対応することを想定しております。

今井吉男
議員



おきえらぶフローラルホテル の位置づけは

町長／町の重要拠点である

動画配信は
こちら



おきえらぶフローラルホテル

問 おきえらぶフローラルホテルの位置づけは。
答 町長は町の重要拠点である。

問 おきえらぶフローラルホテルは、旧国民宿舎えらぶ荘の老朽化に伴う、廃業か再建かの末、当時の日吉町長が、「知名町への交流人口増加と商工業の活性化には、町内にホテルは必要！」との強い思いのもと、平成8年4月に町内唯一のホテルがオープンしました。おきえらぶフローラルホテル社長である今井町長は、どのような「思い」でおきえらぶフローラルホテルを位置づけているのか。

答 町長は多くの方の思いが詰まった、町の重要拠点であり、今後も運営を継続していきます。

問 フローラル館での結婚披露宴は、この3年間一組も無かったが、その間島外に出向いての結婚式は数組ありました。おきえらぶフローラルホテルの経営立て直しには、町の全面的支援協力が必要だと考えるが。

答 町長は平成29年度決算が債務超過となったことをきっかけに、平成30年度からは町では様々な支援をしてきましたが、引き続き、今後も全面的に支援する。

問 経営悪化を理由に、ホテル職員への夏季賞与は支給されませんでした。職員は、コロナ禍でも、各種企画やイベントを開催して、経営立て直しの努力をしています。ホテル職員42名には家族がいます。新年に向け、最低でも子供たちへのお年玉や餅代の支給はできないか。

答 町長は厳しい状況ではあるが、今後の資金繰りを注視しながら、職員の維持を最優先しつつ、賞与の支給を検討します。

問 役場新庁舎建設（総事業費20億円）は、11月7日に安全祈願祭と起工式が開催され、令和5年11月完成予定ですが、令和3年の一般質問において、「町内業者育成の観点から本体工事と電気や設備等の工事は分離発注すべき！」との質問に、町長は「基本的には、分離発注を考えている。」と答弁したが、実際の発注は、1工区、2工区とも一括発注でした。一括発注に至った明確な理由は。

答 町長は町内で入札参加資格を有する各社の社員数が数名程度であることを考慮し、1社での施工は難しく一括発注することにしました。

問 国・県においては、公共工事について、官公需法等に基づき、分離発注方式を導入すべきではないか。

答 町長は事業規模や工事内容を勘案し分離発注方式の導入を検討します。

問 公用車、特に「認定こども園」（一台615万円）の送迎車は、導入以降屋外に雨ざらし状態で駐車、車体の絵文字がサビ等で、一部消えているので車庫の設置はできないか。

答 町長は駐車場設置の必要があると認識しており、新庁舎建設工事の中で、バス用車庫2台分の設置を計画しています。



役場新庁舎起工式



認定子ども園送迎車

福川勝久議員



温暖化対策推進課を設置すべき

動画配信はこちら



町長／脱炭素推進室を設け体制の強化を図る

問 地方創生臨時交付金を活用して、12月から来年3月まで行う給食費の無償化を来年度以降も実施できないか。

答 教育長は無償化により新たに1860万円の財源が必要で財源確保の見通しが立たない現状においては、来年4月からの無償化の実施は困難な状況である。

問 九州電力の再生可能エネルギーの買取受け入れ状況は。

答 町長は九州電力の蓄電池供給量では買い取り分の電気を入れる容量がないため難しい。

問 脱炭素事業開始終了年度は。また総事業費がかなり高額だが年次に対する予算事業計画書などはないのか。

答 企画振興課長は2020年から2030年です。予算等は単年度で事業を進めていくので、その都度計画をたてて補助金の申請をしていく流れになります。

問 脱炭素総事業費のうち町負担は7億あり、5年間で毎年1億4000万の財源が必要となりますが財源確保の方法は。



電気自動車



電気バイク

答 企画振興課長は過疎債を中心にして財源を確保する予定です。まだ、決まっています。せんが、企業版ふるさと納税という方法もあります。町が実施する企画に対して、賛同する企業様から出資頂いてする方法もあると思います。また未確定です。

問 この事業に過疎債を充当した場合、現在過疎債を充当している事業の継続は可能なのか。

答 総務課長は本町で使える枠がありますので、これから練り直して「※スクラップアンドビルド」していくつもりである。現在に収まっている事業を優先することになります。この事業も重要なので、取捨選択して、この枠の中で、計画していくことになりす。

※スクラップアンドビルドとは…老朽化して非効率な工場設備や行政機構を廃棄・廃止して、新しい生産施設・行政機構におきかえることにより、生産設備・行政機構の集中化、効率化などを実現すること

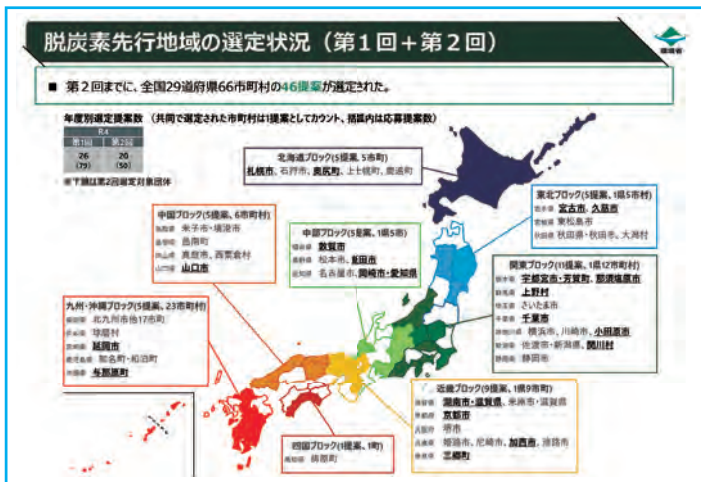
問 事業実施地区の住民に対しての説明会は開くのか。

答 企画振興課長は各区分に対して説明はしてあるが、しかしまだどういった流れでするのかという計画が確定してないので、現段階では未定です。

問 脱炭素先行地域事業に係る専門的職員、人材が不足していると思えます。先行地域としてこれからモデル地域、見本

になるので、温暖化対策推進課を設置すべきだと思いがどうか。

答 町長は現段階では企画振興課と本年度受け入れをしたグリーン専門人材と3名で実施している。来年度も追加での配置を検討しており、12月より派遣登録されている企業との協議を行う予定。来年度以降については、企画振興課内に脱炭素に係る脱炭素推進室等（仮称）を設け人員の増員を含めた推進体制の強化に向けて取り組みを行う予定です。



西文男議員



奄美群島振興交付金・奄美群島成長戦略推進交付金について

町長／交付金は町づくりに必要です

動画配信はこちら



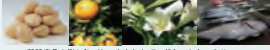
奄美群島振興交付金

令和4年度当初予算案:23.8億円(前年度予算額:23.9億円)
令和3年度補正予算額:5.5億円(前年度予算額5.0億円)

奄美群島の自立的発展、住民の生活の安定及び福祉の向上並びに定住の促進を図ることを目的として、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は住民生活の利便性の向上に資する事業を支援する。

物資の輸送費支援

◆販路・生産拡大等のための戦略産品の移出等に係る輸送費への支援



戦略産品の例(パッションフルーツ、マンゴー、アボカド、ユリ、バナナ)

世界自然遺産登録後の観光キャンペーン

◆世界自然遺産登録を契機とした観光促進を図り、その効果を群島全体に波及させるための、誘客・周遊促進事業及び沖縄からの航路・航空路の特別運賃割引への支援



世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄県北部及び西表島」

国際定特別天然記念物「アマミノクロウサギ」

野生林ツアー(産物販売)

航路・航空路運賃軽減事業

◆奄美群島の住民等(県内路線)・旅行者(群島間路線)を対象とした運賃割引への支援

農業の生産性向上・水産業の振興

◆台風対策に資する平張ハウスの整備等、農業機械の導入への支援
◆水産資源の増養殖や低未利用資源の活用等への支援

成長戦略の実現に向けた支援

◆地域が自らの創意工夫を生かして雇用拡充、人材育成や交流人口を図るために実現する事業を支援
◆雇用拡充、人材育成又は交流人口拡大に係る事業のうち、民間と連携した新しい取組(事業開始から3年以内)については、交付率をかき上げて強力に支援

奄美群島振興交付金

町長 知名町で奄美群島成長戦略推進交付金を活用した事業は具体的に何か伺う。

答 奄美群島振興交付金は、奄美群島内の各市町村の奄美群島成長戦略推進交付金と同様に、町づくりに必要です。各市区町村の交付金は、奄美市で約1億2,000万円、大和村9,600万円、龍郷町の約8,300万円、知名町は約1,600万円です。交付金は実施事業毎に変動します。奄美群島広域事務組合などで行う事業も含まれています。

町長 奄美群島振興交付金内訳で輸送コストや運賃軽減などの条件不利性改善事業として国費ベースで15億1,400万円の交付金です。各市区町村の交付金は、奄美市で約1億2,000万円、大和村9,600万円、龍郷町の約8,300万円、知名町は約1,600万円です。

町長 奄美群島振興交付金を活用した福祉の充実、他の交付金や他の補助金等の活用も検討しつつ事業の推進を図ってまいります。



交付金の活用

町長 令和4年度の奄美群島成長戦略推進交付金事業で営農用ハウス・野菜等栽培実証等や水産物流通支援事業、黒糖焼酎販路拡大、新型コロナウイルス対策利子補給事業など行っています。

町長 奄美群島成長戦略推進交付金を活用し、町民の全世代に対する福祉の充実を図る事業を推進していかう。

町長 奄美群島振興交付金を活用した福祉の充実、他の交付金や他の補助金等の活用も検討しつつ事業の推進を図ってまいります。

町長 奄美群島振興交付金を活用し、町民の全世代に対する福祉の充実を図る事業を推進していかう。

町長 奄美群島振興交付金を活用し、町民の全世代に対する福祉の充実を図る事業を推進していかう。

町長 奄美群島振興交付金を活用し、町民の全世代に対する福祉の充実を図る事業を推進していかう。

町長 令和3年度は一人当たり1路線280円の補助を行っており、敬老バスの利用者は、年間約35,000人おります。

町長 高齢者の実態調査で外出行に配慮した公共交通機関の整備や、公共施設等におけるバリアフリーを望む方が21.8%で高齢者の5人に一人以上の方が交通機関等の整備が必要と答えています。

町長 経済支援については、妊娠届出時の面談実施後に5万円、母子手帳交付時と生後2ヶ月頃の保健師訪問時申請書類を配布し、申請後に対象者にそれぞれ5万円を現金で支給する予定です。事業実施は現在のところ令和5年1月以降の見込みです。

町長 経済支援については、妊娠届出時の面談実施後に5万円、母子手帳交付時と生後2ヶ月頃の保健師訪問時申請書類を配布し、申請後に対象者にそれぞれ5万円を現金で支給する予定です。事業実施は現在のところ令和5年1月以降の見込みです。

町長 経済支援については、妊娠届出時の面談実施後に5万円、母子手帳交付時と生後2ヶ月頃の保健師訪問時申請書類を配布し、申請後に対象者にそれぞれ5万円を現金で支給する予定です。事業実施は現在のところ令和5年1月以降の見込みです。

町長 経済支援については、妊娠届出時の面談実施後に5万円、母子手帳交付時と生後2ヶ月頃の保健師訪問時申請書類を配布し、申請後に対象者にそれぞれ5万円を現金で支給する予定です。事業実施は現在のところ令和5年1月以降の見込みです。



買物難民(実証)

窪田 仁 議員



花き地域振興事業について

町長／種苗球根購入費の補助有り！！

動画配信はこちら



ポテト掘り取り機
ポテトカルゴ

問 農業振興について。①町の有機物供給センター・リサイクル液肥センターの肥料の成分分析はどうか。pHの低い液肥は作れないか伺います。

答 町長 有機物供給センター液肥は、し尿、牛糞尿、焼酎粕で作られpHは8以上のアルカリ性、pHを下げるのは可能です。えらぶ食品リサイクルセンターの液肥はpH3・9弱酸性となっております。作物に対して効果を検証しながら普及に努めて参ります。

問 ②労働力不足の中にポテトハーベスターの導入がなかなか進まない。ポテト掘り取り機ポテトカルゴの導入は図れないか伺います。

答 町長 ①ポテトハーベスターは、メーカーの製造台数に限りがあり導入調整を行っていただきます。ポテトカルゴは、補助事業を活用した導入も可能です。

問 ⑤花卉生産振興に生産数を増やし持続可能な生産体系を目指してゆり類の球根の購入補助はできないか伺います。

問 道路整備について。①町道下平川・吉川線は、道幅が狭くさとうきびの運搬車や大型車の交通に不便をきたしています。道路拡張はできないか伺います。

問 ③花卉振興について、生産面積や生産額が減少しています。ハウス施設の導入が資材の高騰や高齢化により増えません。低価格のハウスを両町で企画し農家が導入しやすい事業にできないか伺います。

問 ②奄美群島から沖縄へ農産物の輸送コスト支援の要望はできないか伺います。

問 ③県道や農道にはみ出た高枝は、沖永良部バス運行・重機運搬車・さとうきびの運搬車にあたりと危険です。対応できる窓口はできないか。

答 町長 ②国県補助金を活用するハウスの建設は、県が定めている型のハウス導入になり、低価格にすることは行えません。町単独費では、県の標準型営農ハウスの資材購入費の補助を行っています。低価格のハウスの企画について今後研究していきます。

答 町長 ④花卉生産振興に生産数を増やし持続可能な生産体系を目指してラジオオラス球根の購入補助はできないか伺います。

答 町長 ③各道路管理者は、県道は県大島支庁沖永良部事務所、町道は建設課、農道は耕地課が窓口となります。



「第1次知名町債権管理計画」の策定による成果は

町長／対策本部を設置し4,400万円の滞納額を圧縮できた

動画配信はこちら

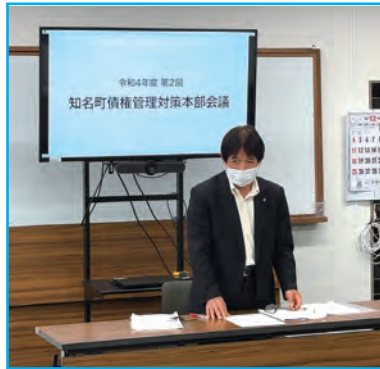


問 収納対策室設置による成果と職員の資質向上は。

答 町長 債権回収研修会を実施し職員および組織全体の能力向上によりすべての債権で対前年度比プラスとなった。

問 債権管理計画通りの改善は見られているのか。

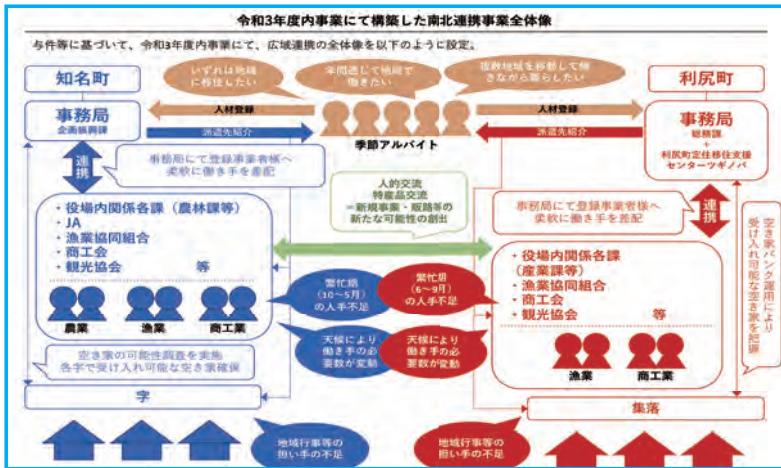
答 町長 目標値を高く設定した事から現年度5債権、滞納繰越分8債権が計画に及んでいない。



債権管理対策本部会議

問 納付窓口拡大による納付率向上は見られるか。

答 町長 島外納税者の納付方法は郵便局窓口だけだったが、コンビニやスマホアプリ、クレジットカード決済等で利用可能になり固定資産税納付に利用増加がみられた。



問 利尻町と南北連携事業の進捗状況はどうか。

答 町長 事業者説明会に40事業社の参加があった。人材登録サイトを12月中旬に設置予定

問 利尻町以外の人材も獲得できるような効果的な運営の土台づくりを年度内に着手する。

答 町長 現在2事業者が町内4ヶ所の洞窟でガイド事業を実施している。洞窟の出入り口は所有者の了承を得て借用または土地を購入しており苦情等は受けていない。

問 労働災害補償等の事業者とのルール作りの現状はどうか。

答 町長 農家への派遣がメインとなるので公的・民間の保険に加入するようルール作りを検討する。社会保障は農業・サービスの個人経営は強制適用事業所に該当せず個々の加入保険での対応となる。

問 ケイビング(洞窟探検)の地域住民への説明と理解は得られているか。

答 町長 現在2事業者が町内4ヶ所の洞窟でガイド事業を実施している。洞窟の出入り口は所有者の了承を得て借用または土地を購入しており苦情等は受けていない。

問 関係車両駐車場による交通障害の発生はないか。

答 町長 現在町道又は農道横の空きスペースに駐車しており通行の妨げにはなっており苦情等も確認できない。洞窟周辺の地権者に駐車場用地借用できるよう両団体と整備を進めたい。

問 入洞者増加による洞内・周辺の環境悪化はないか。

答 町長 日本洞窟学会策定の倫理規定・行動規則にのっとり、環境悪化は確認していない。本町最大の観光資源であり団体と協力・連携しながら啓発・普及に努めて参ります。



ケイビング 銀水洞 (沖永良部島ケイビング協会提供)

動画配信はこちら



ゼロカーボンアイランド構想が目指すものは



外山利章議員

町長／持続可能な島・まちづくりを進め、他の離島地域のモデルとなる

問 ゼロカーボンアイランドとは。

答 町長 島外に依存しているエネルギー、食料、廃棄物の3点を島内調達、循環を生み出すことで、外部依存せず、温暖化、気象異常にも対応できる持続可能な島、町づくりを進め、他の離島地域のモデルとなることを目指しています。

問 実現に向けた課題整理、タイムスケジュールの策定は。

答 町長 ①エネルギー ②マイクログリッド ③マイクログリッド実現に向けて、設備の詳細設計と新庁舎周辺の現地調査を実施。今後システムの構築検討と収支採算性について検討し、今年度末に報告予定です。

② 公共施設への太陽光LED照明の設置しと現地確認を行い、導入対象について精査しています。

③ 移動 ④ 公用車のEV切り替えに向けた調査ならびに高校生

て実証実験を行っています。④ 資源循環 ⑤ 家庭用生ごみ液肥・バイオガス利用について実験装置を設置し実験を開始したところでは。

問 ゼロカーボンアイランドという言葉自体がわかりづらく、最終目標を町民と共有しづらい。意識共有に向けたイメージ戦略が大事だと考えるが。

答 企画振興課長 議員紹介の宮古島は、15年以上前から持

続可能な島づくりに取り組んでいます。先進地域を参考にしながら、わかりやすく、共感が得られるような取り組みを進めて参ります。

問 重要な案件であり、議会としても特別委員会の設置の検討をしなければならぬ。逐次、詳細な情報提供・共有を行うべきだと考えるが。

答 企画振興課長 調査、検討を行った上で、判断材料が整えば早急にお示ししたいと思います。

問 行政一体となった取り組みを進める上でも政策的な位置づけを明確にする必要があるのでは。

答 町長 今年度改定予定の総合振興計画において位置づけを明確化させ、職員向けの研修会などを通じ、施策反映に努めて参ります。

問 町民への情報提供、意見聴取に向けた取り組みは。

答 町長 実現には町民の参加が不可欠。今年度中に町民と語る会を開催し、直接説明する機会を設けたいと考えています。

問 未来の沖永良部を担う子供たちがゼロカーボンについて学ぶ機会を作るべきでは。

答 教育長 学校現場において環境問題、ゼロカーボンアイランドについての理解を深めることは重要だと認識しています。教育課程編成に向け、どのような取り組みが可能か、先進自治体の取り組みを参考にしながら、施策検討していく所存です。



上城小で行われた3校合同の環境学習

問 基幹産業である農業にとっても大きな転換期だと言える。長期的な農業振興計画の策定を行うべきでは。

答 農林課長 前回の議員の質問を受け、農家のヒアリングを進めています。要望等聞きながら、計画策定の方向に進んでいくものと考えています。

先進地宮古島に学ぶ、持続可能な島づくり

エコアイランド宮古島宣言2.0

宮古島市

エコアイランド宮古島宣言2.0
～千年先の、未来へ。～

平成20年3月のエコアイランド宮古島宣言から10年。エコアイランドを再定義し、ビジョンを明確化するため、エコアイランド宮古島宣言2.0を発表。

- 標語「千年先の、未来へ。」を策定(H30.3)
- 2030年、2050年を目指すべき5つのゴールを設定(H31.3)

エコアイランド宮古島宣言及び5つのゴールに基づいて、エコアイランド推進計画に関連施策を盛り込んでいる。

○エコアイランド宮古島宣言 (平成30年3月30日)

1. 私たち市民は、島の生活を支えるかけがえのない地下水を守ります。
1. 私たち市民は、美しい珊瑚礁の海を守ります。
1. 私たち市民は、みんなの知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします。
1. 私たち市民は、ゴミのない地球にやさしい美(か)ぎ島(すま)宮古(みやへく)島(すま)を目指し、一人ひとり行動します。
1. 私たち市民は、緑・海・空を守り、すべての生物が共に生きていける環境づくりのため行動します。
1. 私たち市民は、よりよい地球環境を取り戻し・守るため、世界の人々とともに考え・行動し、未来へバトンタッチします。

出典：宮古島市ホームページより

根釜昭一郎議員



空き家の有効活用を

町長／必要に応じて、居住の確保に努めてまいりたい

動画配信はこちら



倒壊寸前の空き家対策を

問 空き家対策①本町の空き家の状況は怎么样了っているか。

答 町長 令和2年度に、当時の区長に依頼し調査したところ、約300件の空き家（目視等）があることが判明。令和5年度当初予算に空き家管理システム導入費用を計上し、町内の空き家情報を種別ごとに管理ができるよう予定している。

《参考》空き家の種別：①賃貸住宅②売却用住宅③二次的住宅④その他の住宅

問 ②空き家の有効活用へのシフトチェンジが必要ではないか。

答 町長 必要に応じて、空き家改修事業等をおこない、居住の確保に努めてまいりたいと考えております。

問 船舶欠航問題①長期間に渡り、船舶が欠航してしまつた場合、生鮮食料品・生活必需品の安定供給はどうなっているか。

答 町長 本年8月末に発生した台風第11号により、奄美群島各地では定期船の欠航が1週間以上続き、町内の各小売店で欠品や品薄が生じ、日常生活に影響があつたところで、町内の小売店によりますと、台風が発生し、定期船の就航に影響があると判断した時点で、定期船が就航できない期間を想定した発注を行つているとのことであり、必要に応じて冷蔵コンテナを借用するなどし、対応していることと確認したところ、食料品の欠品はあつたものの生活必需品では影響がなかつたようです。

問 ②奄美群島全体の問題と考えるがどうか。

答 町長 県や奄美群島広域事務組合から、「離島の物流に関する主な課題の実態」についての調査があり、生鮮食料品等の確保について課題と捉えている市町村は多いものの、具体的な対応策については決まっております。今後、県や郡内市町村と意見交

換しつつ、各島においての共同保管庫等の整備も含め検討していきたいと思ひます。

問 島留学①コロナ禍であったが、留学生・学校・地域の声はどうか。

答 教育長 コロナ禍という逆境ともいえる環境の中、学校や地域の皆様のご理解、ご協力により、昨年度2組、今年度3組（いずれも3名）の島留学生を迎え入れることができました。留学中の保護者の声「島の方は親戚と言えるくらい、繋がりが濃くて面白いです。島のことを全く知らないで移住してきたけれど、島で暮らしていると、伝統や文化、歴史について触れる機会が多いので、もつと島のことを知りたいと思つていきます。」留学生の声「学校では、三線や陸上記録会等チャレンジできる機会が沢山ある。夏はウミガメが見られる。放課後は、みんなのおうちで地域のお友達と遊べるから楽しい。」教職員の声「島留学生の親子が、歴史や文化の異なる地域から移住してきたにも関わらず、すぐに学校や地域に馴染み、島の子どもたちと留学生がお互いに刺激を与えあつており感謝している。また、島留学生の親子が地域行事にも積極的に参加しており、感心している。えらぶゆりの島留学は大



島留学生（上城小学校）

変良い取組なので、今後もずっと続けて欲しい。」児童の声「一緒に上城スポーツ少年団で試合に出たり、休日は一緒に釣りに行つたりして、とても楽しかつた。」地域の声「子どもものいな地域に、子どもが移住することで、地域が賑やかになつて嬉しい。」

問 ②今後の事業拡大は。

答 教育長 他的小学校への事業拡大については、今後の児童・生徒数の推移を見ながら、検討して参ります。

令和4年 第4回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第65号	知名町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第66号	知名町職員の再任用に関する条例の廃止について	原案可決
議案第67号	知名町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第68号	知名町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第69号	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	知名町技能、労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第71号	知名町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第72号	知名町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第73号	知名町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第74号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第75号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第76号	知名町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第77号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第78号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
議案第79号	令和4年度知名町一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第80号	令和4年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第81号	令和4年度知名町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第82号	令和4年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第83号	令和4年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第84号	令和4年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第85号	令和4年度知名町水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第86号	知名町子育て支援金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第87号	知名町農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	原案可決
議案第88号	知名町定住促進住宅明け渡し等の請求に関する訴訟の提起について	可 決
発議第6号	議員派遣について	決 定
決定第5号	閉会中の継続調査の件について	決 定

県の町村議会広報研修 に参加して

11月1日に町村議会広報の研修会に参加させていただきました。
議会広報は、多様な世代・職業そして障がいのある人もそれぞれの興味や関心情報環境に応じて議会とつながることができる広報紙です。広報広聴の強化は、ウェブ・SNS(ネット・ソーシャルネットワーク)の利活用も広がっています。今後は、更にSNSの利活用は広がると思われます。

住民参加では、広報紙と動画も議会を身近に「つながる」取り組みで、議会から語りかける、視て・聴いてメディアの特性を生かした活動です。

対象市町村の議会報講評とクリニックでは、議会広報らしさの打ち出し、予算への議会・議員の態度を「結論」から示す、質疑テーマがすぐわかるようにまた、議会に動画中継があることをここでもPRする、文書量をやや抑え写真や見出しを目立たす、議会のメッセージを伝える、財政状況の分析・評価があると議会らしい、住民を向いた広報であること、読みやすく、写真が多く手に取りたくなる広報誌にすることが求められます。

今後とも議会広報活動の作成に役に立てられる様にまた基本的な考えでもあります「住民・読者とともに」を心に深く刻んで取り組んで参りたいと思います。

議会報編集委員会 委員長 窪田 仁

9月

- 7日・第3回議会定例会
- 8日・第3回議会定例会
- 9日・第3回議会定例会
- 13日・例月監査
- 15日・生涯学習フェスティバル実行委員会
- 16日・議会改革推進会議分科会（経済建設）
- 25日・第40回知名町合同金婚式
- 27日・各中学校体育大会
- 27日・広域事務組合議会第2回臨時会

10月

- 2日・各小学校運動会
- 11日・例月監査
- 12日・知名町認定こども園在り方検討委員会
- 13日・常任委員長研修会
- 14日・女性議会
- 19日・木の日の要望活動
- 21日・第3回沖永良部グリーンセンター施設整備方針等検討委員会
- 27日・第3回議会臨時会
- 27日・議会改革推進会議分科会（経済建設）島内視察
- 28日・田皆中学校文化祭

11月

- 1日・議会広報研修会
- 2日・国保運営協議会会長及び国保主管課長合同研修会
- 4日・国保トップセミナー
- 4日・田皆小学校学習発表会
- 4日・学校訪問
- 6日・議会改革推進会議分科会（総務文教）町内視察
- 7日・第32回生涯学習フェスティバル
- 7日・新庁舎 安全祈願祭及び起工式

11月

- 8日・第40回離島振興市町村議会議長全国大会
- 9日・第66回町村議会議長全国大会
- 10日・例月監査
- 11日・大山平和の塔献花祭
- 15日・護国神社慰霊祭
- 15日・第1回知名町振興計画審議会
- 17日・大島郡町村監査委員協議会総会・研修会
- 18日・大島郡町村監査委員協議会島内視察
- 22日・全員協議会
- 22日・ぬでいあしばプロジェクトプロ
- 24日・モーションビデオ上映会
- 24日・奄美群島振興開発総合調査に係る意見交換会
- 26日・奄美群島広域事務組合議会定例会
- 26日・市町村長・議会議長合同懇談会
- 26日・全国沖洲会連絡協議会総会
- 29日・全国沖洲会連絡協議会懇親会
- 29日・全員協議会
- 29日・議会改革推進会議分科会（経済建設）

12月

- 1日・奄美大島法人会知名支部令和4年度支部報告会
- 3日・知名町消防団忘年会
- 4日・知名町商工会合同忘年会
- 6日・議会運営委員会
- 6日・提案議案説明会
- 7日・全員協議会
- 7日・第41回ゆめ・ときめき南三町交流研修会
- 12日・例月監査
- 13日・第4回議会定例会



しらゆり保育園お楽しみ会

編集後記

謹んで新春をお祝い申し上げます。
 今年は新庁舎建設・脱炭素先行地域事業者等の巨額の予算が投じられます。議会としてチエック機能の充実を図り町民の負託に応えるよう努力してまいります。皆様方がご健勝で幸多い年でありますようお願い申し上げます。

議会報編集委員会 委員 城村 誠